



# ちとせたい

学校だより 第10号  
令和6年 1月31日  
六ヶ所村立千歳平小学校  
文責：教頭

## マイナスをプラスに！

校長 尾崎 修一

明けましておめでとうございます。

2024年がスタートしました。1月15日の3学期初日、子どもたちの元気な声が響き、学校に活気が戻ってきました。3学期はとても短く、登校日が1～5年生は49日、6年生は47日しかありません。進級・進学に向けての大切な期間となりますので、あわてずにじっくりと取り組むためにも、まずは健康・安全第一だと思っています。

さて、新年を迎え、気持ちを新たに何かを行おうとしている子もいるはずですが、新しい何かへのチャレンジが、今後の人生に少しでも「プラス」になってくれればと思っています。そのチャレンジをサポートするのが、学校では教職員、家庭では保護者・家族のみなさんだと考えます。その「プラス」にするということに関して、1つの作品と詩を紹介します。

柔道の基本は受身	受身
基本は受身	受身
受身とは	受身
ころぶ練習	受身
まける練習	受身
人の前にぶざまに	受身
恥をさらす稽古	受身
受身が身に	受身
つけば達人	受身
まけることの尊さが	受身
わかるから	受身
みつを	受身

※著作権の絡みもあって、実際の書を掲載できませんので、それらしい感じに打ちました。インターネット等の検索で、実際の書の写真が見られます。



上の作品は、相田みつをさんの「受身」という書を模したものです。元々は「受身・負ける練習」というかなり長い詩で、それを書家である相田みつをさんが短くまとめ、書の作品にしたようです（右のページに元の詩を掲載しておきました）。

「成功すること」「勝つこと」は素晴らしい経験です。しかし、誰でも必ず一度は失敗する・負けることがあり、痛い目を見たり、いやな気持ちになったりするものです。しかし、大事なことは、失敗した時・負けた時に何をどうするかで、その対処法を知っていると知らないのでは、雲泥の差が生じると考えます。失敗や負けによる「挫折」「ハンディー」が力となったりもしますから、ある意味、成功し続ける・勝ち続ける人よりも、失敗や負けを経験した人の方が、様々な意味で更に成長し強くなれると思っています。そう考えると、マイナスイメージの「失敗」「負け」も、プラスイメージに変換できるのではないのでしょうか。

失敗や負けを経験する年齢が小学生くらいまでなら、過ちが小さなうちに修正できるとともに、対処法を教えることができるので、傷口が広がる可能性は低いです。しかし、失敗や負けの初経験年齢が上がれば上がるほど、何をどうして良いかわからないだけでなく（未経験なので当然ですが）、周りの人も「対処できる」ものと思って、フォローも少なくなってくるため、最終的に取り返しの付かない状態に陥りがちです。それこそ、柔道での「受身の練習をしてこなかったから大怪我をする」ということです。

失敗や負けは少ないに越したことはないんですが、それを経験しない（経験させない）のは大きな問題だと思います（「箱入り娘・息子」「過保護」なんかも該当しそうです）。「負けることの意味」や「失敗することの価値」を子どもたちに教えてあげるのも、私たち教師、親、大人としての責務と捉えています。「失敗は成功のもと」ですから……。

## 「受身」負ける練習

柔道の基本は受身  
受身とは投げ飛ばされる練習  
人の前で叩きつけられる練習  
人の前でころぶ練習  
人の前で負ける練習です。

つまり、人の前で失敗をしたり  
恥をさらす練習です。

自分のカツコの悪さを多くの人の前で  
ぶざまにさらけ出す練習  
それが受身です。

柔道の基本では  
カツコよく勝つことを教えない  
素直にころぶことを教える  
いざぎよく負けることを教える

長い人生には  
カツコよく勝つことよりも  
ぶざまに負けたり  
だらしなく恥をさらすことのほうが  
はるかに多いからです。

だから柔道では始めに負け方を教える  
しかも、  
本腰を入れて負けることを教える

その代り  
ころんでもすぐ起き上がる  
負けてもすぐ立ち直る  
それが受身の極意  
極意が身につけば達人だ

若者よ 失敗を気にするな  
負けるときにはさらりと負けるがいい  
口惜しいときには「こんちくしょう!!!」

と、正直に叫ぶがいい  
弁解なんか一切するな  
泣きたいときには  
思いきり泣くがいい  
やせ我慢などすることはない

その代り  
スカッターと泣いて  
ケロリと止めるんだ  
早くから勝つことを覚えるな  
負けることをうんと学ぶ  
恥をさらすことにうまくなれ  
そして下積みや下働きの  
苦しみをたっぶり体験することだ  
体験したものは身につく  
身についたもの  
それはほんものだ

若者よ  
頭と体のやわらかいうちに  
受身をうんと習っておけ  
受身さえ身につけておけば  
何回失敗しても  
すぐ立ち直ることができるから……

そして  
負け方や受身のほんとうに身についた人間が  
世の中の悲しみや苦しみに耐えて  
ひと（他人）の胸の痛みを  
心の底から理解できる  
やさしい暖かい人間になれるんです。

そういう悲しみに耐えた  
暖かいこころの人間のことを  
観音さま、仏さま、と呼ぶんです。

みつを

■ 子どもたちの活動の紹介① [ 全学年 マス計算コンテスト ]

1月17日(水), 3学期最初のマス計算コンテストを行いました。  
1年生は「25マス繰り下がりひき算」, 2年生は「64マスかけ算」  
3～6年生は「100マスかけ算」でした。

冬休み明けのコンテストでしたが, 自分のめあての達成を目指し, 集中して計算に取り組んでいました。終了後の児童の感想発表では, 更により結果を出そうとする意気込みを感じました。

3学期は短いですが, 1年のまとめをする大切な学期です。次の学年に向けての準備をしっかりとしていきます。



◎大谷選手からのグローブが届きました!

以前から報道され話題になっていた, 大谷選手から寄贈されたグローブが千歳平小学校にも届きました。早速, 各教室で触れる機会を設けました。小さめのサイズで小学生が使うには, ちょうどよい感じでした。現在, 玄関に展示しています。保護者の皆様も, 参観日等で来校した際, 手に取ってみてください。今後, 体育の授業などで活用していきたいと思っております。



◎2月行事予定

- 1日(木) 全校集会
- 2日(金) 一日入学
- 5日(月) 冬期理科教室(5年)
- 6日(火) 図書ボランティア 委員会
- 7日(水) 集金日 マス計算コンテスト
- 8日(木) 校外学習[村郷土館](1・2年) 国際理解学習(4年)
- 9日(金) 六ヶ所第二中学校一日入学(6年)
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 15日(木) 読み聞かせ 1・2年「昔あそび交流会」  
後期児童会総会(3～6年)
- 16日(金) 教育委員会学務課後期訪問
- 19日(月) 自学ノート審査日(3学期チャンピオン) 委員会(3年参加)
- 20日(火) 自学ノート審査日(年間チャンピオン) 図書ボランティア
- 21日(水) 縄跳び持久跳び大会 自学ノート展示～27日
- 23日(金) 天皇誕生日
- 27日(火) 第4回参観日 第2回学校評議員会(13:30～)  
PTA専門委員会(16:00～) PTA役員会(16:30～)
- 29日(木) 6年生を送る会

■ 子どもたちの活動の紹介② [ 全校児童・職員 避難訓練 ]

1月18日(木), 地震の後, 家庭科室で火災が発生した想定で避難訓練を行いました。今回の訓練は, 冬期の避難経路及び避難の方法を知り, 指示に従って安全に避難しようとする態度を育てることがねらいでした。

児童は, 放送の指示をしっかりと聞いて机の下へ入り, その後は学級担任の指示に従って, 素早く児童玄関から外に避難することができました。その後, 1階ワークスペースに移動し, 校長先生のお話を聴きました。お話は, 元旦にあった能登半島地震のことでした。万が一に備えて, 家族で避難する場所を決めておきましょうとの提案もありました。

どの子も真剣な態度で取り組み, 立派でした。

